

別紙2 評価基準

評価項目	評価の視点	配点
業務実績等	・本業務を着実かつ効率的に遂行できる実績・経験を有しているか。 ・類似業務の実績において得られた具体的な知見や成功事例が本業務に活かされると判断できるか。	20
実施方針	・本業務の趣旨や基本方針を理解し、目的達成につながる方針が示されているか。	10
実施体制	・組織体制、人員配置、役割分担等が具体的に示され、本業務を適切かつ確実に履行できる実施体制が構築されているか ・本業務の専門性に対応できる十分な経験を有する担当者が配置されているか。	20
スケジュール	・仕様書に沿った具体的な業務スケジュールが提示され、実現可能かつ適切なスケジュールとなっているか。	20
業務選定・分析	・市民ニーズの把握や業務内容の調査、業務プロセスの可視化、課題抽出の方法は実現性が高く、かつ効果的な手法が具体的に示されているか。 ・職員の負担を軽減するための工夫がされているか。	30
改善施策の検討・効果及びコスト試算	・本市の実態及び基本方針に即した改善施策について、実現可能性と実効性を確保した提案とするための工夫や考え方が示されているか。 ・業務改革に係る費用対効果及びコストの算出方法について、高精度で信頼性が高い手法が示されているか。	30
アクションプラン策定・成果指標設定	・アクションプランの掲載項目が具体的であり、かつ実現性を高めるための考え方が示されているか。 ・成果指標の設定及び効果測定について、定量的かつ継続的に検証するための考え方や手法が示されているか。	20
継続的な改善支援	・職員が継続的にBPR手法を活用し、自走化できる内容となっているか。また、実装、定着化支援の手法が示されているか。 ・職員の意識醸成やスキル向上につながる提案が示されているか。 ・対象業務以外に水平展開が図れる内容となっているか。	20
独自提案	・本業務の目的を達するために、仕様書の項目以外に独自の提案や創意工夫がなされているか。	10
プレゼンテーション	・説明が分かりやすいか、また的確な質疑応答となっているか。 ・業務に対する熱意や意欲が感じられるか。	10
見積金額	・見積金額が提案内容に対して合理的かつ妥当なものとなっているか。	10
評価点の合計		200